

Original 1st Album 発売記念コンサート

Light and Shadow

チャペルに響く
 神秘の歌声
 豪華メンバーによる
 幻想的なケルティック
 ファンタジー
 コンサート

【出演】

Shaylee (Vocal)
 寺嶋 民哉 (Keyboard)
 Sean Whelan (Guitar)
 豊田 耕三 (Irish Flute & Tin Whistle)
 榊 渚 (1st Violin)
 長崎 真音 (2nd Violin)
 恵藤 あゆ (Viola)
 田草川 亮太 (Cello)

Shaylee

シェイリー

2018年12月8日(土)

Open 13:30 / Start 14:00

前売り ¥4000 / 当日 ¥4500 (全席自由)

【コンサートのお問い合わせ】 gramianmusic@gmail.com

*ご予約は下記HPから、またはQRコードにアクセス。

【HP】 <http://shayleemusic.com/>

【制作】一般社団法人PLANET TERRA

【共催】音はこ

【協力】東京ガーデンパレス / 株式会社JMC



【ご予約フォーム】

【会場】

東京ガーデンパレスチャペルホール

東京都文京区湯島1-7-5 (御茶ノ水駅徒歩5分)

【お問い合わせ】 03-5715-7071 (音はこ)



オリジナル1stアルバム

Shaylee 『Light and Shadow』

—暗い闇がおりてあなたを覆っても
信じて続けていてその胸の中に描いた空を—

SOUND PRODUCED BY TAMIYA TERASHIMA

全オリジナル7曲 ¥2000(税抜)

コンサート先行発売

Amazon, iTunes等は後日発売予定





『Light and Shadow』 Release!!

Shaylee 待望のオリジナル1stアルバム誕生!!

幼少期の頃から曲を作る事が好きだったShaylee。本作品はこれまで彼女が書き温めてきた約70曲もの未発表曲の中から、音楽を通して今最も伝えたい思い入れの深い曲に厳選されたメッセージ性の高いアルバムとなっている。作編曲家、寺嶋民哉との出会いにより、長く秘めてきたShayleeのイメージと理想を、具体的な形にする事ができた。

作詞においては、2011年の東日本大震災後、被災地でさまざまな応援活動を通して学んだ多くの事や、生きるもの全ての儚さや温かさ、光と闇の共存、自由な心と愛、自然との調和などに焦点が当てられ、苦しい中でも希望の光を見い出せるような祈りが込められた1曲1曲となっている。

壮大なテーマに、ケルティック、クラシカル、ポップ、ヒーリング、アンビエントなど様々な要素が共存するShayleeの楽曲の数々は、神秘的な透明感を持つ歌声と、寺嶋の編曲により、まるで映画の世界にいるようである。

そして、このアルバムのために寺嶋が書き下ろした異世界を感じさせるかのような『Riven』は、Shayleeが持つ潜在的なポテンシャルをも引き出している。

また、アイルランドのギタリストSean Whelan、ケーナ奏者の菱本幸二、二胡奏者の野沢香苗、フィドル奏者の内藤稀花が参加したことによって、さらに命とエネルギーが注がれた。

アルバムのブックレットに使用されている写真は全て、フォトグラファーの寺嶋貴美子の撮影によるものでありとあるゆる天候を味方に奇跡のショットを生み出した。

アルバム全体を通して奥行きのある豊かなサウンドと歌声は、時空を超え、国境やジャンルを超えて聞く人の心を温め、ファンタジックな世界へと誘ってくれることでしょう。

全7曲 2,000円(税抜)

1. Distance
2. Alive
3. 目を閉じて
4. Light and Shadow
5. My life again
6. Riven
7. Gift

All Photo Works by Kimiko Terashima



Shaylee (シェイリー) - Profile

長崎県出身のシンガーソングライター。歌手。作曲家。オリジナル曲の他にアイルランド・スコットランド民謡、賛美歌、童謡などを主なレパートリーとし、2015年、クラシックギター専門の現代ギター社企画による世界の民謡曲集CD、楽譜集『Traditional Songs』のヴォーカルに抜擢され、CDデビュー。2018年発売予定のセガゲームスを代表する人気RPG『ファンタジースター』シリーズ30周年記念最新作品の主題曲、劇中曲を歌唱担当。2019年公開予定の歴史映画作品のエンディングボーカルも担当。又、一方では2015年11月から、作詞家の森由里子氏、作曲家のFrankie T氏プロデュースによるニューエイジユニット『SEIRIOS』のヴォーカルとしても活動を開始し、2016年健康ヒーリング雑誌『ゆほびか5月号』の付録CD『ショルリロー』、テレビ東京系「開運!なんでも鑑定団」エンディングテーマ曲『碧の方舟』を歌唱。

Special Concert Members

寺嶋 民哉 (Sound Produce & Keyboard)



高校時代に brass band でトランペットを始めたことがきっかけになり、吹奏楽や小編成のバンドアンサンブルの編曲を手掛けるようになる。卒業後はロックバンドに参加、キーボードを担当する。この頃からシンセサイザーを使った編曲を始め、音楽の方向性も次第にジャズ・フュージョン系からクラシックを基調とした音楽に変化した。シンセサイザーを駆使した独特のオーケストレーションで評価を受け、数多くの映画音楽で才能を発揮している。代表作に「半落ち」、スタジオジブリ作品「ゲド戦記」等。近年では、ミュージカルの作・編曲等、舞台音楽に活動の場を広げている。2005年、『半落ち』にて第28回日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。

Sean Whelan (Guitar)



アイルランド出身のギタリスト、音楽プロデューサー。2nd CD アルバム「From Grey to Blue」をリリース。熱い音楽魂、卓越した創造力、多彩な技術で奏でるギターで孤高のショーン・スタイルを確立してきた。日本との関係が長く、文化・音楽への造詣も深い。

日本を代表する歌手KOKIAのヒット作品の一つ「Fairy Dance」等、国内外のアーティストとのレコーディングやツアー経験も豊富。アイルランドの映画(日本でも放映)では、作曲から出演まで担当。Shayleeの美しい歌声と感性に共鳴し、オリジナルアルバム『Light and Shadow』のレコーディング・制作活動にも関わってきた。http://www.seanwhelan.com/

豊田 耕三 (Irish flute & Tin whistle)



東京芸術大学卒、同大学大学院修了。2016年アイルランド伝統音楽の祭典フラー・キョールのコンペティションで、ティン・ホイッスル・スローエアー部門3位入賞(アジア人初)。2017年、アイルランドの国宝級バンドThe Chieftainsの日本公演に出演しフルートの第一人者Matt Molloyと共演。『スーパー・マリオ・オデッセイ』、『アトリエオンライン』等、レコーディングに多数参加。2017年「題名のない音楽会」、2018年「ららクラシック」出演。O'Jizo, Toyota Ceili Band等複数のアイリッシュ系バンドを主宰。Intercollegiate Celtic Festivalを立ち上げ、日本の若手がアイルランド音楽に熱中する火付け役となる。地元千葉県船橋市の二宮神社の神楽囃子や囃子神楽連にも所属し、篠笛を中心に伝統芸能の担い手としても活動中。

榊 渚 (1st Violin)



6歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科(男女共学)を卒業後、ドイツ・フライブルグへ留学。ドイツのレーガーコンクールのソロ部門にて優勝するなど、国内外のコンクールで多数入賞。大阪センチュリー交響楽団を始め、ドイツ・イタリア・ポーランドにて様々なオーケストラとソリストとして共演。様々な音楽祭で好評を博す。2009年に日本での演奏活動も再開。クラシックの演奏活動に加え、多くのBGMや放送音楽などのレコーディングやコンサートで、ソリストやコンサートマスターとして参加するなど幅広く活動している。これまでに、梅谷敬子、西和田ゆう、原田幸一郎、アリアーネ・マテウス、ヴォルフガング・マルシュナーの各氏に師事。

長崎 真音 (2nd Violin)



東京音楽大学卒業、同研究科修了。3年鎌倉市学生音楽コンクール中高生の部第1位及び総合第2位、ミュース賞受賞。96年アジアユースオーケストラ参加。97年第2回JILA音楽コンクール弦楽器部門第2位受賞。大学卒業直後から国内オーケストラの客員コンサートマスター、及び客員首席をつとめる。スタジオミュージシャンとして多くの有名アーティストや宝塚歌劇団など年間3000曲を超えるレコーディングに参加。現在では長崎真音Stringsとしてグループを持つ。ノンジャンルアコースティックバンド「M-Tone」を結成しバンドリーダーを務める。サンアゼリアフィルハーモニーメンバー。RMAJ理事、MPN代議員。

恵藤 あゆ (Viola)



6歳よりヴァイオリンを七澤清貴氏に師事。その後、田中千香士氏、景山誠治氏、工藤由紀子氏に師事。都立芸術高校卒業後、ヴィオラに転向。給費特待生として東京音楽大学入学。ヴィオラを兎東俊之氏、豊嶋泰嗣氏、クロード・ルロン氏に師事。第9回日本クラシックコンクール第3位。2009年ジョン・ミョンファン指揮「アジアフィルハーモニー」管弦楽団 韓国中国公演に参加。現在、オーケストラでの演奏活動を中心に、室内楽・アーティストのライブサポート・レコーディング・後進の指導も行う。アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ団員。

田草川 亮太 (Cello)



東京都出身。3歳よりスズキ・メソッドでチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業、同研究科修了。チェロを井上頼豊、荻田雅治両氏に、室内楽を毛利伯郎、藤井一興両氏に師事。在学中ミクロシュ・ペレーニ氏及び堤剛氏のマスタークラスを受講する他、桐朋学園チェロアンサンブルでのアメリカ公演に参加。その後ジャパン・チェンバーオーケストラ等にも参加する。現在は「石田組」など室内楽の他、レコーディング、オーケストラ等の活動をしている。